

群馬県の挙式・披露宴ビジネスの動向

一般財団法人 群馬経済研究所
研究員 丸岡 美智世

～要 約～

1. 群馬県の挙式・披露宴ビジネスを取り巻く状況を見ると、晩婚化や未婚率の上昇により婚姻件数が減少する中で、新たな結婚式場の出店もあって、競争は厳しさを増しているものと考えられる。
2. 当研究所が挙式・披露宴を行う事業所を対象に実施したアンケート調査によると、挙式・披露宴件数は、過半数の事業所で3年前に比べ減少しており、その要因では「少子化の進展」、「新たな結婚式場等の進出」などが多かった。一方、1組あたりの挙式・披露宴費用では、半数が3年前に比べ「横ばい」と回答した。
3. 事業所側からみた今後の利用者ニーズでは、「ウェディングプランナー・スタッフの対応の良さ」が最も多く、「価格を抑えた結婚式の提供」と「特色やこだわりのある料理の提供」が2位に並んだ。
4. 利用者ニーズや少子化への対策をみると、現状では「スタッフの接客技術の向上」や「料理メニューの充実」などの回答が多いが、今後では「Webサイトの充実」や「ウェディングプランナーの育成・強化」などが上位に挙がった。
5. 県内の結婚式場を対象としたヒアリング調査では、人材の育成や内部体制の強化に力を入れ、招待客を含め顧客満足の上昇を図っていることがわかった。
6. 挙式・披露宴は利用・参加する機会が少ないサービスであることから、事業所側が受注を拡大するためには顧客との接点の増加を図ることが不可欠である。今後は、顧客の拡大に向けた長期的な対応を視野に入れ、行事やイベントの開催等を通じて地域とのつながりを重視することが必要となろう。